

小型機関車『C160』の数奇な軌跡

～知られざる鉄道 犬見鉦山軌道／加悦鉄道とC160の生涯～



鉄道講座 第2弾は、

小型機関車「C160」

令和元年9月まで
京都市北区の大宮交通公園にあった
小さな蒸気機関車「C160」。
「C160」は現役時代どこを走っていたのか、
また現在はどうなっているのかを
ご存じでしょうか？
今回の新・京都学講座【鉄道編】では、
「C160」をめぐる講座を開催します。

2022年 9月25日 日
13:30～15:00 (12:30 受付開始)

会場 京都府立京都学・歴史館 1階 大ホール

料金 500円

定員 480名(事前申込制・先着順)

【主催】 京都府立京都学・歴史館指定管理者「コングレ・日本管財・丸善雄松堂共同事業体」
【共催】 京都府立京都学・歴史館

お
申
込
方
法

● イベントページのお申込フォーム
フォームからお申込いただくと、自動で申込完了メールが配信されます。
(お申込内容に確認事項がございましたら、改めて担当者よりご連絡いたします。)

● お電話 075-723-4831 (9:00～17:00 ※休館日を除く)
1～4の内容をお伝えください。
1. 参加イベント名 2. 代表者氏名 3. 電話番号 4. 申込人数

【締切】 イベント前日17時まで (定員に達し次第受付終了)



フォームはこちら▶

前半 13:30～14:10



講師 下嶋一浩氏

「知られざる鉄道 犬見鉦山軌道」

若狭湾の近くを走っていた鉦山鉄道。ニッケル鉦を求めて戦時中に急遽建設され、終戦と同時に廃止されたので記録らしい記録はない。区間、期間、ゲージ、使用機関車、謎多き鉄道なのである。しかし、その線路跡はレールとともに昭和53年まで一部区間で残っていた。

後半 14:20～15:00



講師 吉田博一氏

「加悦鉄道とC160の生涯」

加悦鉄道の起点、丹後山田駅(現丹鉄与謝野駅)で入れ替え仕業につくC160。丹後ちりめんの一大産地、加悦谷を走った小さな私鉄の加悦鉄道は、時代に翻弄され昭和60年に廃止されたが、そこは個性的な車輛の宝庫であった。加悦鉄道とC160の波瀾に満ちた生涯。

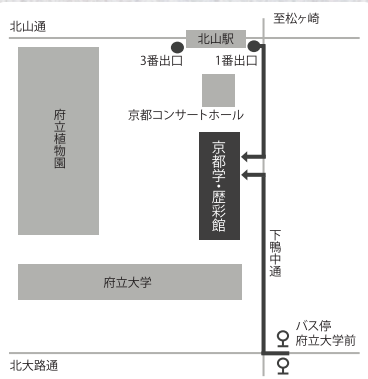
京都府立 京都学・歴史館
Kyoto Institute, Library and Archives

〒606-0823 京都府京都市左京区下鴨半木町 1-29
☎ 075-723-4831 (代表)

● Information

開館時間：[平日] 9:00～19:00 [土日] 9:00～17:00
休館日：毎月第2水曜日、祝日、蔵書整理期間
年末年始 (12月28日～1月4日)

京都府立京都学・歴史館
ホームページ
<https://rekisaikan.jp/>



● Access

一電車
京都市営地下鉄丸線「北山」駅下車 (①出口) 南へ徒歩約4分
一バス
京都市バス1系統、204系統、206系統「府立大学前」(北大路通) 下車北へ徒歩約6分
駐車場/敷地内(下鴨中通側)に複数台分無料駐車場がございます。

館内では新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。マスクの着用と入館時の検温・アルコール消毒のご協力ください。※37.5度以上の方は入館をお断りします。その他、主催者の判断により入館をお断りする場合がございます。

【ホール利用のご案内】

当館には、講演会やセミナーなど多岐にわたってご利用いただけるホールがございます。(Wi-Fi設備あり) お気軽にお問い合わせください。



●大ホール
収容人数：484席
(固定：481席、車いす3席)
延床面積：510.63㎡

●小ホール(会議室)
収容人数：可動席100席
延床面積：198.84㎡